

Ⅱ 環境基本計画の推進

1 第2次廿日市市環境基本計画の概要

(1) 計画策定の趣旨

本市では、豊かな自然環境を守るために、平成12年に環境施策の基本方針となる「廿日市市環境基本計画」を策定し、環境を保全するための取組を推進してきました。

その後、2度の合併による市域の拡大や社会状況の変化等を踏まえて見直しをした「廿日市市環境基本計画（改訂版）」（平成21年4月）を策定し、同時に「廿日市市環境都市宣言」を行い、環境基本計画の基本理念「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」の実現に向けて、その取組や行動をより一層推進してきたところです。

しかしながら、東日本大震災を起因とした国のエネルギー政策の転換、平成27年12月の気候変動枠組条約パリ協定の採択や、同年の国連サミットでの「SDGs（持続可能な開発目標）」の採択等、現在では、環境をめぐる社会情勢は大きく変化しています。

こうした中、前計画である「廿日市市環境基本計画（改訂版）」の計画期間が終了することに伴い、前計画の成果と課題を踏まえ、市民・事業者・市が共通の認識に立ち、共に力を合わせて良好な環境を将来の世代に引き継ぎ、地域にふさわしい環境への取組を総合的かつ計画的に進めるため、「第2次廿日市市環境基本計画」（以下「計画」といいます。）を策定しました。

(2) 計画の位置づけ

計画は、環境基本法に規定する地方公共団体の責務として、本市の環境を保全・創造するために必要な基本的事項について定めたものであり、本市の環境に関する最上位計画に位置付けられます。

また、「第6次廿日市市総合計画」を環境面で補完する役割を担い、具体的な環境施策を示すとともに環境行動の指針となるものです。

(3) 計画の期間

令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

(4) 計画の対象

計画の対象となる主体は、市民・事業者・市とします。市民にはNPO等市民団体、廿日市市への通勤、通学者及び滞在者を含むものとします。

また、計画の対象となる環境分野は、「自然環境」、「生活環境」、「地球環境」の3つの基本的な環境分野と、それら全てに関わる「環境活動」を加えた4つの環境分野とします。

(5) 環境の将来像

本市が目指す「環境の将来像」は、瀬戸内海から中国山地まで及ぶ広大な市域を持ち、海から山（緑）につながる豊かな環境の中で、そこに暮らす人々が協働し、より良い環境づくりに向けて取り組んでいくことを目指し、「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」とします。



Ⅱ 環境基本計画の推進

(6) 基本目標と基本的施策

計画の対象とする4つの分野（3つの基本的な環境と、それらすべてに関わる環境活動を加えた4つ）について、それぞれ「基本目標」と「基本的施策」を設定します。

「環境の将来像」及び「基本目標」から「基本的施策」への展開を体系的に表すと次のようになります。

環境の将来像	基本目標	基本的施策
海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち	1 自然環境 自然と人が共生するまち	1-1. 野生生物の暮らしを守ります
		1-2. 豊かな森林や農地を守ります
		1-3. 自然とのふれあいを大切にします
	2 生活環境 きれいで暮らしやすいまち	2-1. 清潔で静かな生活を守ります
		2-2. ごみを適正に処理します
		2-3. 美しいまちづくりを進めます
	3 地球環境 地球にやさしい低炭素のまち	3-1. 低炭素のまちづくりを進めます
		3-2. 再生可能エネルギーの利用を進めます
		3-3. 市の排出する温室効果ガスを削減します （地方公共団体実行計画（事務事業編））
	4 環境活動 環境について学び行動するまち	4-1. 環境にやさしい活動を実践します
		4-2. 環境についてみんなで共に学びます

（図Ⅱ－１） 施策の体系

(7) 重点的施策

本計画に示された様々な取組の中から、特に重点的に取り組む必要のある事項について、次のとおり「重点的施策」を設定し、積極的に取り組むことにより、本計画を先導的に推進することとします。

重点的施策1 特定外来生物による生態系等への被害を防ぎます

重点的施策2 地球にやさしいエネルギー利用への転換を進めます

重点的施策3 環境活動の輪が広がる仕組み創りを進めます

（図Ⅱ－２） 重点的施策

2 第2次環境基本計画に基づく取組の状況

本市では、環境の将来像「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」の実現に向けて、計画で示した4つの基本目標と11の基本的施策に基づき、様々な取組を実施しています。

計画では、実効性を担保するため、環境の状況を測る数値的なものさしとして環境指標を設定しています。環境指標を設定することで、基本目標の達成状況を明確にし、計画の進行管理を行います。

以下に、令和3年度の環境指標の状況と取組の状況について報告します。

【環境指標の進捗状況の凡例】

「○」：目標値を達成している。

「△」：目標値を達成していないが、基準値からは改善している。

「×」：基準値と同じ、又は基準値から後退している。

(1) 自然環境

【基本目標】自然と人が共生するまち

(基本的施策1) 野生生物の暮らしを守ります

(基本的施策2) 豊かな森林や農地を守ります

(基本的施策3) 自然とのふれあいを大切にします

(表Ⅱ-1) 自然環境の環境指標

環境指標名	基準値 (基準年度)	現況値 (確認年度)	進捗 状況	目標値 (目標年度)
自然環境の保全状況などに対して肯定的な回答をした市民の割合	13.1% (H30年度)	20.4% (R3年度)	○	18.7% (R11年度)

① ラムサール条約特別教室の開催

市内の小・中学生を対象に「ラムサール条約特別教室」を実施しました。令和3年度は、40名の参加がありました。「ラムサール条約特別教室」は、ラムサール条約やミヤジマトンボの生態を学習し、宮島の貴重な自然環境に触れることを目的として開催しています。



写真 ラムサール条約特別教室

【野生生物の暮らしを守ります】

事業概要	R3年度事業内容(実績)	事業名称	担当課
環境講座等の開催(ラムサール条約特別教室)	市内の小・中学校でラムサール条約特別教室を開催しました。1回開催、40名参加。	自然環境保全事業	生活環境課

Ⅱ 環境基本計画の推進

② 自然環境分野その他の取組

【野生生物の暮らしを守ります】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
カシワアカシジミの保全	国内希少野生動植物種であるカシワアカシジミの違法捕獲を注意喚起する看板を設置しました。	自然環境保全事業	生活環境課
ミヤジマトンボの保全	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会に参画し、生息状況調査、生息環境整備等を行いました。	自然環境保全事業	生活環境課
ラムサール条約登録湿地の保全	ラムサール条約登録湿地関係市町村会議に参画し、情報収集に努めました。	自然環境保全事業	生活環境課
関係機関と連携したアルゼンチンアリ対策【重点1】	アルゼンチンアリ対策広域行政協議会に参画し、情報共有を行うとともに国への要望活動を行いました。	環境衛生一般事業	生活環境課
アルゼンチンアリの分布状況調査【重点1】	学術機関等と連携し、アルゼンチンアリの分布調査を行いました。	環境衛生一般事業	生活環境課
特定外来生物の実態や対策等の啓発【重点1】	市ウェブサイトや広報等へ特定外来生物（ヒアリ、アルゼンチンアリ等）に関する啓発記事を掲載しました。	環境衛生一般事業	生活環境課
アルゼンチンアリの防除（市民活動団体との連携）【重点1】	廿日市市公衆衛生推進協議会等が実施するアルゼンチンアリー斉防除活動と連携して、74の公共施設に、3,845個の防除薬剤を設置しました。	環境衛生一般事業ほか	生活環境課ほか
市内事業者との連携・協力【重点1】	フマキラー株式会社と締結している「廿日市市における特定外来生物の対策に関する協定書」に基づき、連携・協力して特定外来生物対策に取り組みました。	自然環境保全事業	生活環境課

【豊かな森林や農地を守ります】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
市有林の適正管理の実施	市有林の適正管理を行うため、支障木等の伐採を実施しました。	森林育成事業	農林水産課
森林整備の促進支援と森林管理経営権の取得の推進	森林集積計画の作成、未整備人工林の経営管理権取得に向けた調査等を実施しました。	森林管理事業	農林水産課
市有林の人工林整備の実施	市有林の整備を図るため、再造林地の下刈り、スギ・ヒノキの搬出間伐等を実施しました。	造林保育事業	農林水産課
森林整備の促進	人工林及び里山林の整備を実施しました。	ひろしまの森づくり事業	農林水産課
公共施設への木材利用と市産材の有効利用の促進	市産材を使用した木製品等の加工を行うとともに、製材した市産材を備蓄し、公共施設への活用を図りました。	木材利用促進事業	農林水産課
公共施設への地元産木材の利用	新築する吉和支所複合施設の内装材等に市産材を活用しました。	吉和支所複合施設整備事業	地域振興課
公共施設への地元産木材の利用	相談支援拠点整備に係る総合健康福祉センターの改修工事において、レイアウトの一部に県産材・市産材を活用しました。	福祉センター整備事業	健康福祉総務課
耕作放棄地の再生・農地の改良	耕作放棄地再生又は農地改良を支援することで、農地の将来的な保全等を図りました。	農地保全対策事業	農林水産課

【豊かな森林や農地を守ります】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
地産地消の推進	地産地消講座の開催や必要な施設整備に対する補助等を行いました。	地産地消推進事業	農林水産課
森林ボランティア活動等への支援	森林・林業体験活動や森林を活用する取組を行う団体を支援しました。	ひろしまの森づくり事業	農林水産課
有害鳥獣被害の防止対策の実施	市街地への出没に対する防除対策を実施し、イノシシ等による農作物の被害の防止等に取り組みました。イノシシ342頭捕獲等。	有害鳥獣被害対策事業	農林水産課

【自然とのふれあいを大切にします】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
生き物観察会等の開催（おおの自然観察の森）	バードウォッチングやベニマンサクの観察会等を開催しました。	自然観察の森管理運営事業	農林水産課
自然にふれあえる施設の周知	市ウェブサイトや広報等へ自然とふれあえる施設の案内記事やイベント情報を掲載しました。	魅惑の里管理運営事業ほか	観光課ほか

（２）生活環境

【基本目標】きれいで暮らしやすいまち

（基本的施策１）清潔で静かな生活を守ります

（基本的施策２）ごみを適正に処理します

（基本的施策３）美しいまちづくりを進めます

（表Ⅱ－２）生活環境の環境指標

環境指標名	基準値 （基準年度）	現況値 （確認年度）	進捗 状況	目標値 （目標年度）
大気中における二酸化窒素・二酸化硫黄濃度の環境基準達成率	100.0% (H29年度)	100.0% (R3年度)	○	100.0% (R11年度)
河川におけるBODの環境基準達成率	76.9% (H29年度)	100.0% (R3年度)	○	100.0% (R11年度)
市域における騒音の環境基準達成率	93.3% (H29年度)	93.3% (R3年度)	×	100.0% (R11年度)
家庭系収集ごみ排出量	544g／人・日 (H29年度)	516g／人・日 (R3年度)	△	450g／人・日 (R4年度)

Ⅱ 環境基本計画の推進

① 環境保全協定の締結

住民の健康を保護するとともに、地域の生活環境を保全することを目的に、工業団地等の各事業所と環境保全協定を締結しています。環境保全協定を締結する事業所の数は、(表Ⅱ－３)のとおりです。

環境保全協定では、各地域における環境保全を実施するため、敷地内の緑化等環境整備及び公害防止対策（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭）等について規定しています。

(表Ⅱ－３) 環境保全協定締結事業所数

(単位：件)

区 分	事業所数
木材工業団地（Ⅰ）期	117
木材工業団地（Ⅱ）期	10
宮内工業団地	25
佐伯工業団地	19
その他	20
合 計	191

(資料：産業振興課、令和４年３月末現在)

② 小型合併処理浄化槽の普及の推進

生活排水によって生じる公共用水域の水質汚濁を防止するため、平成６年度から、公共下水道事業計画区域、農業集落排水処理施設の処理区域及び団地浄化槽等の集合処理施設による処理をしている区域以外の区域において、住宅用建物に設置されているくみ取り便所や単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換する市民を対象に設置費用の一部を補助しました。補助実績は、(表Ⅱ－４)のとおりです。

平成３０年度までは、公共下水道事業処理区域の拡大及び建物の新築・建て替えに伴う浄化槽の設置の増加により補助基数が減少していましたが、令和元年度から、浄化槽整備区域（公共下水道計画区域等に含まれない区域をいいます。）において、主に居住の用に供する建物等の新築（建て替えを含みます。）に伴い合併浄化槽を設置する者を補助対象に加えたことにより、令和元年度以降の補助基数は、いずれも平成３０年度の補助基数を上回っています。

(表Ⅱ－４) 合併処理浄化槽設置整備費補助実績（地域別）

(単位：基)

年度	補 助 基 数				補助対象外 基 数
	廿日市	佐伯	大野	合計	
H29	7	8	3	18	287
H30	3	7	3	13	243
R1	21	17	3	41	213
R2	18	12	2	32	175
R3	6	13	3	22	154

(資料：下水道経営課)

【清潔で静かな生活を守ります】

事業概要	R３年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
小型合併処理浄化槽の普及の推進	くみ取り便所又は単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換する市民を支援しました。	生活排水対策事業	下水道経営課

③ ごみの減量化の推進（電動生ごみ処理機購入費の補助）

ごみ減量化を図るため、電動生ごみ処理機の購入費の補助を行いました。補助実績は（表Ⅱ－５）のとおりです。

補助金を利用した人を対象に、アンケート調査（購入後６カ月）を実施しており、そのアンケート調査では、ごみの減量効果があったと答えた方が、全体の７割以上という結果が出ています。また、乾燥させることでごみの量が減る、臭いがあまり気にならなくなったという声もありました。

（表Ⅱ－５） 電動生ごみ処理機購入費補助実績（地域別）

（単位：台）

年度	廿日市	佐伯	吉和	大野	宮島	合計
H29	12	2	0	10	0	24
H30	18	5	0	6	0	29
R1	25	2	1	10	0	38
R2	28	4	1	17	1	51
R3	23	2	0	12	0	37

（資料：循環型社会推進課）

【ごみを適正に処理します】

事業概要	R３年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
ごみ減量化の推進	電動生ごみ処理機等を購入する市民を支援しました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課

Ⅱ 環境基本計画の推進

④ 3R活動の推進（資源回収推進報奨金の交付）

町内会・子ども会等の登録団体が行う地域の資源回収活動に対して、報奨金を交付することにより、資源回収活動の活発化を図るとともに、地域での実践活動を通じて、再資源化に対する理解を深めることを目指しています。資源回収量等の実績は（表Ⅱ－６）のとおりです。

実施団体数は、ここ数年横ばいですが、回収量は減少傾向となっています。原因としては、事業所による店頭回収等排出方法の多様化のほか、少子高齢化により町内会・子ども会等の活動が縮小していることなどが考えられます。

（表Ⅱ－６） 資源回収量等実績（地域別）

地域	年度	実施団体数 (件)	回収実績（t）				
			古紙類	古衣類	金属類	空瓶類	合計
廿日市	H29	45	318	5	6	1	330
	H30	45	301	4	6	1	312
	R1	48	298	3	8	1	310
	R2	44	260	0	8	0	268
	R3	40	245	0	8	0	253
佐伯	H29	7	62	1	1	0	64
	H30	7	68	0	2	0	70
	R1	7	76	1	2	0	79
	R2	6	64	0	2	0	66
	R3	6	57	0	2	0	59
大野	H29	32	647	1	19	1	668
	H30	32	600	0	16	0	616
	R1	29	481	0	19	0	500
	R2	21	349	0	14	0	363
	R3	24	349	0	20	0	369
全体	H29	84	1,027	7	26	2	1,062
	H30	84	969	4	24	1	998
	R1	84	855	4	29	1	889
	R2	71	673	0	24	0	697
	R3	70	651	0	30	0	681

（資料：循環型社会推進課）

【ごみを適正に処理します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
ごみ減量化の推進	資源回収を行う町内会・子供会等に対して資源回収推進報奨金を交付しました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課

⑤ 生活環境分野その他の取組

【清潔で静かな生活を守ります】

事業概要	R 3 年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
環境調査の実施	公共用水域の水質及び大気汚染等の実態把握を行うため、市内各所で環境調査を実施しました。	環境管理事業	生活環境課
騒音調査の実施	自動車騒音及び環境騒音の実態把握を行うため、市内各所で騒音調査を実施しました。	環境管理事業	生活環境課
公用車へのエコカーの導入	老朽化した庁用車を更新するため、低燃費かつ低排出ガス認定車を5台購入しました。	庁用車購入事業	総務課
公用車でエコドライブの徹底	加減速の少ない運転、アイドリングストップなどのエコドライブの実施を、全職員に対して周知徹底しました。	庁用車管理事業	総務課
廃棄物の屋外焼却の禁止の周知と指導	市ウェブサイトや広報等へ野焼きの禁止に関する啓発記事を掲載したほか、市民等の通報に基づき、現地で必要な指導を行いました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
公共下水道の計画的な整備	公共下水道の計画的な整備を実施するとともに、ストックマネジメント計画による施設の更新や浸水対策等を行いました。	下水道事業会計	下水道建設課
瀬戸内海の環境保全	広島県西部湾灘協議会に参画し、瀬戸内海の環境の現状、課題等について情報収集しました。	自然環境保全事業	生活環境課

【ごみを適正に処理します】

事業概要	R 3 年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
リサイクル講座の開催	ごみ減量化や資源化に関するリサイクル講座を開催しました。開催4回、参加者延べ8名。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
不法投棄の防止（パトロール）	不法投棄を未然に防止するため、不法投棄が特に多い場所を中心にパトロール車による巡回監視を行いました。	清掃一般事業	循環型社会推進課
不法投棄の防止（監視カメラ）	不法投棄を未然に防止するため、不法投棄が特に多い場所に、監視カメラを4箇所4台設置しました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
ごみ集積所の適正管理の推進	ごみ散乱防止ネット・ごみボックス等を購入する町内会等を対象に費用の一部を補助しました。ごみ散乱防止ネット11件、ごみボックス等13件。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
燃やせるごみの有料化の実施	家庭系燃やせるごみ処理有料化に伴い、有料指定袋の製造・配送等を委託により実施しました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
ごみ排出困難者の支援（ふれあい収集）	高齢等によりごみ集積所までの家庭ごみの持ち出しが困難な世帯に対して戸別収集を実施しました。利用世帯169世帯。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課
ごみの直接搬入が困難な地域の支援	ごみ処理施設の集約化に伴い、ごみの直接搬入先が遠方になった地域の利便性を図るため、月1回家庭ごみの拠点回収を行いました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課

Ⅱ 環境基本計画の推進

【ごみを適正に処理します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
大型ごみ排出困難者の支援	大型ごみの排出が困難な世帯に対して、全地域同一料金で収集ができるよう支援を行いました。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課

【美しいまちづくりを進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
重点的な景観施策の実施（宮島口地区）	宮島口地区景観ガイドラインに定める景観形成基準に基づく改修工事等に対する支援を行いました。	景観形成推進事業	都市計画課
屋外広告物に対する指導取締	廿日市市屋外広告物等に関する条例に基づく許可、指導等の事務を適正に行い、良好な景観形成を推進しました。	景観形成推進事業	都市計画課
宮島地域の歴史的町並みの保存・復元・継承	宮島地域の歴史的町並みを保存・復元・継承するため、伝統的建造物群保存地区制度により町並み保全に向けた支援等を実施しました。	伝統的建造物群保存推進事業	都市計画課
良好な景観形成を推進する取組の支援	吉和地域景観協議会が行う良好な景観形成を推進するための活動を支援しました。	景観形成推進事業	都市計画課
緑地の保全	廿日市市緑の基本計画に基づき、良好な景観を校正する緑地の保全を図りました。	都市計画一般事業	都市計画課
都市緑化の推進	廿日市市緑の基本計画に基づき、都市公園の緑化率の向上など都市緑化を推進しました。	都市計画一般事業	都市計画課

（３）地球環境

【基本目標】地球にやさしい低炭素のまち

（基本的施策１）低炭素のまちづくりを進めます

（基本的施策２）再生可能エネルギーの利用を進めます

（基本的施策３）市の排出する温室効果ガスを削減します（地方公共団体実行計画（事務事業編））

（表Ⅱ－７） 地球環境の環境指標

環境指標名	基準値 （基準年度）	現況値 （確認年度）	進捗 状況	目標値 （目標年度）
市域における民生部門の二酸化炭素排出量※	359 千 t－CO ₂ （H28 年度）	312 千 t－CO ₂ （R1 年度）	△	264 千 t－CO ₂ （R11 年度）
市の事務事業における二酸化炭素排出量	38,413 t－CO ₂ （H29 年度）	36,658 t－CO ₂ （R3 年度）	△	34,572 t－CO ₂ （R11 年度）

※ 総合エネルギー統計等の改訂・更新に伴い、令和３年３月に、環境省の公表する部門別二酸化炭素排出量の現況推計値が遡及修正されたため、基準値及び目標値を最新の数値に更新しています。

① 住宅用地球温暖化対策設備の設置支援

地球温暖化防止や市民の環境保全意識の高揚を図るため、エネファームや定置式リチウムイオン蓄電池等の住宅用地球温暖化対策設備の設置に要する経費の一部を補助しました。補助事業の実績は(表Ⅱ－８)のとおりです。

(表Ⅱ－８) 住宅用地球温暖化対策設備設置補助実績

(単位：件)

年度	エネファーム	HEMS	蓄電池	窓改修	合計
H30	3	5	14	8	30
R1	2	6	29	6	43
R2	11	22	43	10	86
R3	6	18	31	3	58

(資料：生活環境課)

【低炭素のまちづくりを進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
住宅用地球温暖化対策設備の設置支援【重点2】	自ら居住する住宅に地球温暖化対策設備を設置する市民を対象に費用の一部を補助しました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課

② はつかいち環境フェスタの開催

平成22年度までは、遊休品・不用品のリサイクルを主目的とした「リサイクルフェスタはつかいち」として開催していましたが、平成23年度からは、環境について楽しく学べる参加体験型の環境イベント「はつかいち環境フェスタ」として開催しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました（写真は、令和元年度のはつかいち環境フェスタの様子です。）。



写真 はつかいち環境フェスタ

【低炭素のまちづくりを進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
はつかいち環境フェスタの開催	環境について楽しく学べる参加体験型の環境イベント「はつかいち環境フェスタ」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課

Ⅱ 環境基本計画の推進

③ 緑のカーテンコンテストの開催

緑のカーテンは、ゴーヤやアサガオ等のつる性植物で作る自然のカーテンです。建物の窓やベランダを、つる性植物でカーテンのように覆うと、夏場の強い日差しをさえぎり、室内の温度上昇を抑える効果があり、快適に過ごすことができると同時に冷房代の節約にもなります。

本市では、平成24年度から、緑のカーテンの普及のため、緑のカーテンコンテストを開催しています。

(表Ⅱ－９) 緑のカーテンコンテスト応募件数

(単位：件)

年度	個人	団体
H29	12	4
H30	6	3
R1	1	3
R2	—	—
R3	1	2

(資料：生活環境課)



写真 緑のカーテンコンテスト優秀作品

【低炭素のまちづくりを進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
緑のカーテンコンテストの開催	緑のカーテンコンテストを開催し、温室効果ガスの削減及び省エネルギー行動の実践について啓発しました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課

④ 地球環境分野その他の取組

【低炭素のまちづくりを進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
省エネルギー意識の啓発	市ウェブサイトや広報等へ環境家計簿の実践やうちエコ診断（住宅用省エネルギー診断）の実施等に関する啓発記事を掲載しました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
環境講座等の開催（地球温暖化防止教室）	市内の小学校で地球温暖化防止教室を開催しました。10回開催、延べ314名参加。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
自主運行バスの運行	日常生活における必要不可欠な生活交通を確保するため、自主運行バスを運行しました。公共交通機関の利用による二酸化炭素排出量削減の効果を見込んでいます。	自主運行バス運営事業	交通政策課

【再生可能エネルギーの利用を進めます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
公共施設への太陽光発電設備の導入【重点2】	佐方児童会の新築に伴い、屋根に太陽光発電設備（容量6kW）を設置しました。	児童会整備事業	こども課
公共施設への太陽光発電設備の導入【重点2】	発電事業者と市有施設の屋根等を活用した太陽光発電事業に関する協定書を締結し、再生可能エネルギーの普及を促進しました。太陽光発電設備容量3,400.1kW。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
剪定枝のバイオマス燃料化	剪定枝をバイオマス発電の燃料として有効活用するため、剪定枝破砕車両により破砕することで資源化を行いました。資源化量89.3t。	循環型社会推進事業	循環型社会推進課

【市の排出する温室効果ガスを削減します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
公用車へのエコカーの導入【再掲】	老朽化した庁用車を更新するため、低燃費かつ低排出ガス認定車を5台購入しました。	庁用車購入事業	総務課
省エネルギー対策の実施	クールビズの励行、空調の適温設定、消灯の徹底等、職員による全庁的な省エネルギーの取組を実施しました。	庁舎維持管理事業ほか	総務課ほか
庁舎の設備機器の点検と維持管理	空調設備、動力設備等の定期的な点検・保守等を実施し、機器性能や運転効率を維持することで、エネルギー消費の削減を図りました。	庁舎維持管理事業	総務課
庁舎のデマンド監視（ピークカットの実施）	デマンド監視装置により最大電力を監視し、不要な電力使用を抑制することでエネルギー消費の削減を図りました。	庁舎維持管理事業	総務課
公用車でエコドライブの徹底【再掲】	加減速の少ない運転、アイドリングストップなどのエコドライブの実施を、全職員に対して周知徹底しました。	庁用車管理事業	総務課
公共施設への高効率熱源・空調機等の導入【重点2】	老朽化した友和市民センター及び地御前市民センターの空調設備を省エネルギー性能に優れた最新の機器に更新しました。	市民センターリニューアル事業	地域振興課
公共施設へのLED照明設備の導入【重点2】	老朽化した包ヶ浦自然公園内の外灯をLED照明に更新しました。更新10灯。	包ヶ浦自然公園管理事業	観光課
公共施設へのLED照明設備の導入【重点2】	老朽化した街路灯をLED照明に更新しました。更新24灯。	道路維持管理事業	維持管理課
公共施設へのLED照明設備の導入【重点2】	老朽化した宮内小学校屋内運動場の照明設備をLED照明に更新しました。更新63灯。	小学校リニューアル事業	教育総務課
公共施設の省エネルギー診断の受診	公共施設において、一般財団法人省エネルギーセンターが実施する「省エネ最適化診断」の受診を推進しました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
公共施設から出るごみの減量化	庁舎等で発生する不要紙類の分別排出を徹底するとともに、古紙回収を実施しました。回収量31,130kg。	庁舎維持管理事業	総務課

Ⅱ 環境基本計画の推進

(4) 環境活動

【基本目標】環境について学び行動するまち

(基本的施策1) 環境に優しい活動を実践します

(基本的施策2) 環境についてみんなで共に学びます

(表Ⅱ－１０) 環境活動の環境指標

環境指標名	基準値 (基準年度)	現況値 (確認年度)	進捗 状況	目標値 (目標年度)
市内で「環境の保全」を活動分野とする特定非営利活動（NPO）法人の数	15 団体 (H30 年度)	13 団体 (R3 年度)	×	20 団体 (R11 年度)
水辺・里山教室を受講した児童の割合（過去３年合計値）	53.5% (H30 年度)	51.6% (R3 年度)	×	60.0% (R11 年度)

① 市内一斉清掃の支援

例年、環境月間である６月を中心に、各地域の公衆衛生推進協議会の主催により、市内一斉清掃等が実施されています。多くの市民の参加により、道路、公園、海岸、河川等の清掃活動が行われています。本市では、各公衆衛生推進協議会と連携し、清掃用ごみ袋の配付や収集されたごみの回収等の支援を行っています。令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっています（写真は、令和元年度の廿日市地域の市内一斉清掃の様子です。）。

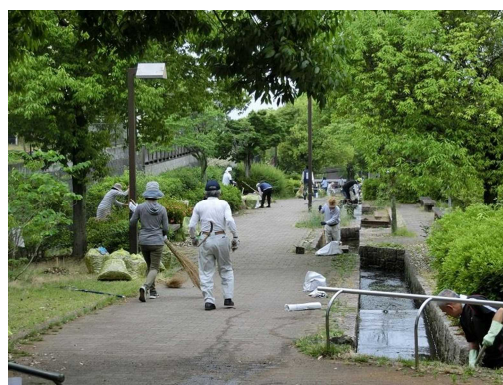


写真 市内一斉清掃

【環境に優しい活動を実践します】

事業概要	R3 年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
市内一斉清掃の支援	市内一斉清掃に使用する資材の配付や収集されたごみの回収等の支援を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。	環境衛生一般事業	生活環境課

② 海岸の清掃活動

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会が提唱する海岸の清掃活動（リフレッシュ瀬戸内）の実施期間に合わせて、例年、地御前地区、阿品地区、大野鳴川地区の海岸清掃を、「海のクリーンアップ作戦」として位置づけ、地域、事業者等との連携による海岸清掃活動を展開していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっています。

また、宮島は、平成24年7月に、ラムサール条約による国際的に重要な湿地として登録されています。このような貴重な環境の保全を目的として、宮島での海岸清掃活動を行っています。



写真 宮島での海岸清掃活動

【環境に優しい活動を実践します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
海のクリーンアップ作戦の実施	地御前海岸、大野鳴川海岸等で海岸清掃を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。	自然環境保全事業	生活環境課
宮島海岸等の清掃の実施	宮島海岸等に漂着するごみの回収について、海の環境保全活動に取り組むNPO法人への委託等により実施しました。	自然環境保全事業ほか	生活環境課ほか

③ はつかいち環境アドバイザーの養成と支援

地域の環境保全活動や環境学習の担い手の養成を目指して、「はつかいち環境アドバイザー養成講座」を開催しました。講座は、フィールドワーク等の実践的な内容を通じて、環境に関する基礎知識を、楽しく身につけることを目標として構成しています。令和3年度は、全6回の講座を、7名の市民が受講し、修了しました。

また、前年度までの修了者のうち希望する人を、市の開催する環境講座等に、講師として派遣しました。

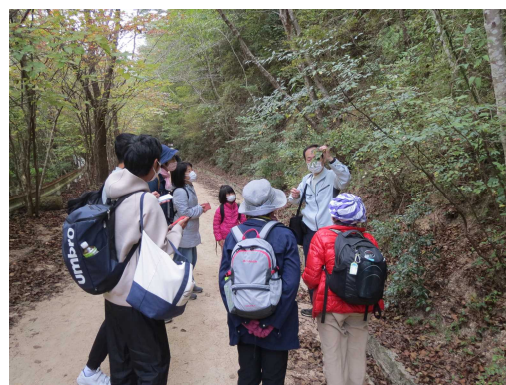


写真 環境アドバイザー養成講座

Ⅱ 環境基本計画の推進

【環境に優しい活動を実践します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
環境アドバイザー養成講座の開催【重点3】	はつかいち環境アドバイザー養成講座を開催しました。7名受講。	自然環境保全事業	生活環境課

【環境についてみんなで共に学びます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
環境アドバイザーの派遣【重点3】	市の開催する環境講座等の講師として、はつかいち環境アドバイザーを派遣しました。延べ8名派遣。	自然環境保全事業	生活環境課

④ 環境講座等の開催

市内の小学生を対象とした「地球温暖化防止教室」を開催しました。令和3年度は、10回開催し、延べ314名の参加がありました。「地球温暖化防止教室」は、身近なテーマによる参加体験型の学習を行い、地球温暖化を身近な問題として考える機会を作ることを目的として開催しています。

また、小・中学生等を対象とした「水辺・里山教室」を開催しました。令和3年度は、9回開催し、延べ548名の参加がありました。「水辺・里山教室」は、水辺や里山で動物や植物と触れ合う体験学習等を通して、環境問題への関心を高めることを目的として開催しています。

その他、「ラムサール条約特別教室」や「春休み親子環境講座」を開催しています。



写真 左) 地球温暖化防止教室 右) 水辺・里山教室

【環境についてみんなで共に学びます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
環境講座等の開催（ラムサール条約特別教室）【再掲】	市内の小・中学校でラムサール条約特別教室を開催しました。1回開催、40名参加。	自然環境保全事業	生活環境課
環境講座等の開催（地球温暖化防止教室）【再掲】	市内の小学校で地球温暖化防止教室を開催しました。10回開催、延べ314名参加。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
環境講座等の開催（水辺・里山教室）	市内の小・中学校等で水辺・里山教室を開催しました。9回開催、延べ548名参加。	自然環境保全事業	生活環境課
環境講座等の開催（春休み親子環境講座）	市内の親子を対象に春休み親子環境講座を開催しました。8名参加。	自然環境保全事業	生活環境課

⑤ 地球環境分野その他の取組

【環境に優しい活動を実践します】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
ボランティア清掃の支援	町内会・自治会等が実施するボランティア清掃に使用する資材の配付や収集されたごみの処理を行いました。	清掃一般事業	循環型社会推進課ほか
アルゼンチンアリの防除（市民活動団体との連携）【再掲】	廿日市市公衆衛生推進協議会等が実施するアルゼンチンアリー斉防除活動と連携して、74の公共施設に、3,845個の防除薬剤を設置しました。	環境衛生一般事業ほか	生活環境課ほか
はつかいち環境フェスタの開催【再掲】	環境について楽しく学べる参加体験型の環境イベント「はつかいち環境フェスタ」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。	地球温暖化対策推進事業	生活環境課
公衆衛生推進協議会の支援	環境衛生・廃棄物対策等に関する事業を展開する公衆衛生推進協議会の活動を支援しました。	環境衛生一般事業	生活環境課
環境都市推進委員会の開催	環境基本計画に基づく施策の進捗状況を取りまとめた環境年次報告書（廿日市市の環境）の発行に当たり、有識者等の意見を聴きました。	自然環境保全事業	生活環境課
環境基本計画の公表と周知	市ウェブサイトや広報等へ環境基本計画に関する啓発記事を掲載したほか、市民センター等で市民の縦覧に供しました。	自然環境保全事業	生活環境課
環境年次報告書の公表と周知	環境基本計画に基づく施策の進捗状況を取りまとめた環境年次報告書（廿日市市の環境）を作成し、市ウェブサイトや広報等へ環境啓発記事を掲載したほか、市民センター等で市民の縦覧に供しました。	自然環境保全事業	生活環境課

【環境についてみんなで共に学びます】

事業概要	R3年度事業内容（実績）	事業名称	担当課
太田川流域振興交流会議事業の実施	太田川流域振興交流会議に参画し、太田川流域の小学生を対象に「水生生物調査」等の体験学習プログラムを提供しました。	自然環境保全事業	生活環境課
環境副読本の作成・配付	小学校4年生を対象とした環境学習副読本「わたしたちのくらしと環境」を作成し、環境学習の教材として、市内全小学校に配布しました。	自然環境保全事業	生活環境課
環境学習等の情報発信【重点3】	市ウェブサイトや広報等へ環境学習会や自然観察会等の開催情報に関する啓発記事を掲載しました。	自然環境保全事業ほか	生活環境課ほか

(空白)